令和3年度

オホーツク社会福祉専門学校学校関係者評価委員会

司会進行 畠山 友子

記 録 田村 智美

日 時 令和4年2月24日(木)18:30~

場 所 オホーツク社会福祉専門学校 5階 図書室

=会議次第=

- 1 学校関係者評価委員会 開会
- 2 学校法人栗原学園 学園長 兼 オホーツク社会福祉専門学校 学校長 挨拶
- 3 委員紹介 · 職員挨拶
- 4 議題 1) 学校関係者評価の概要と実施状況について
 - 議題 2) 自己点検評価結果について 今後改善すべき点・課題となる点等
 - 議題 3) 各項目における意見聴取
 - 議題 4) その他
- 5 閉会

【目的】

*教育課程推進委員会

学校外企業(施設、幼稚園保育園、歯科医院、病院等)に係る授業や実習内容が現状のカリキュラムでよろしいか助言頂く

*学校関係者評価委員会

教員の自己評価などを基に、学校の在り方(学生の生活面など含む)について、改善すべきところはないか助 言を頂く

令和3年度 教育課程推進委員会・学校関係者評価委員会役員名簿

教育課程推進委員	学校関係者評価委員	
医療法人社団松浦歯科医院理事長	医療法人社団松浦歯科医院理事長	
一般社団法人北見歯科医師会会長	一般社団法人北見歯科医師会会長	
北見摂食嚥下ケア研究会会長	北見摂食嚥下ケア研究会会長	
松浦 信一 様	松浦 信一 様	
学校カウンセリング研究会会長	学校カウンセリング研究会会長	
令和元年度函館大谷短期大学客員教授	令和元年度函館大谷短期大学客員教授	
中野 武房 様	中野 武房 様	
社会福祉法人恵和福祉会	社会福祉法人恵和福祉会	
介護老人保健施設緑風事務長	介護老人保健施設緑風事務長	
髙橋 正明 様	髙橋 正明様	
学校法人北見明和学園	学校法人北見明和学園	
認定こども園北見くるみ幼稚園園長	認定こども園北見くるみ幼稚園園長	
岡田 直美 様	岡田・直美・様	
	学校法人栗原学園同窓生	
	株式会社ベストミント代表取締役	
	近藤 千鶴 様	
	オホーツク社会福祉専門学校	
	父母協力会	
	細谷 真希子 様	
学校法人栗原学園 学園長	学校法人栗原学園 学園長	
オホーツク社会福祉専門学校校長	オホーツク社会福祉専門学校校長	
棧 邦雄	棧 邦雄	
オホーツク社会福祉専門学校介護福祉科学科長	オホーツク社会福祉専門学校介護福祉科学科長	
畠山 友子	畠山 友子	
オホーツク社会福祉専門学校こども未来学科学科長	オホーツク社会福祉専門学校こども未来学科学科長	
田中 由佳	田中 由佳	
オホーツク社会福祉専門学校歯科衛生士科学科長	オホーツク社会福祉専門学校歯科衛生士科学科長	
田村 智美	田村 智美	

目 次

- 1. 学校関係者評価の概要と実施状況
 - (1) 学校関係者評価の目的
 - (2) 学校関係者評価員会出席者
 - (3) 学校関係者評価委員会実施日時
 - (4) 学校関係者評価方法
- 2. 評価内容 *別紙(学校関係者評価報告書)
 - (1) 教育理念・目標
 - (2) 学校運営
 - (3) 教育活動
 - (4) 学修成果
 - (5) 学生支援
 - (6) 教育環境
 - (7) 学生募集
 - (8) 財務
 - (9) 法令等の遵守
 - (10) 社会貢献等
- 3. 学校関係者評価委員会コメント・質疑
- 4. 栗原学園学校関係評価委員会 規則

1. 学校関係者評価の概要と実施状況

- (1) 学校関係者評価の目的
 - ・卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、オホーツク社会福祉専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
 - ・学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の 継続的な改善を図る。

(2) 学校関係者評価員会出席者(敬省略)

氏	名	部署・役職
松浦	信一	医療法人社団松浦歯科医院理事長
中野	武房	学校カウンセリング研究会会長
岡田	直美	認定こども園北見くるみ幼稚園園長
髙橋	正明	社会福祉法人恵和福祉会介護老人保健施設緑風顧問
細谷	真希子	オホーツク社会福祉専門学校父母協力会

学校職員 校 長 棧 邦雄

介護福祉科学科長 畠山 友子 こども未来学科学科長 田中 由佳 歯科衛生士科学科長 田村 智美

(3) 学校関係者評価委員会実施日時

日 時:令和4年2月24日 18:30~

場 所:オホーツク社会福祉専門学校 5階 図書室

(4) 学校関係者評価方法

自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、 下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

5:適切

4:ほぼ適切

3:やや適切

2:不適切

1:わからない

※対象職員 … 介護福祉科 4名

こども未来学科 5名

歯科衛生士科 4名 合計 13名

3. 学校関係者評価委員会コメント・質疑

栗原学園学校関係評価委員会 規則

(設置)

第 1 条 学校法人栗原学園(北見情報ビジネス専門学校 ・ オホーツク社会福祉専門学校)において、学校関係評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。但し学科の特殊性等を勘案し、編成委員については、栗原学園協力会会員に限らないものとする。

(任務)

第2条 委員会は、委員長の統括のもとに、栗原学園の諸活動の観察等を通じて、学校が行った自己評価の結果 及びそれを踏まえた、今後の改善方策等について評価することを基本とする。

- (1) 自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること、
- (2) 専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること

(組織)

- 第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
 - (1) 校長及び学科長
 - (2) 生徒·卒業生、関係業界、専修学校団体·職能団体·専門分野別の関係団体など、専修学校と密接に関係する者

(委員長)

第4条 委員会の委員長は、校長または各学科長

(招集及び議長)

第5条 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、各学校において処理する。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の定めるところによる。

附 則

- 1 この規則は、平成 25 年 11 月 25 日から施行する。
- 2 この規約は、平成30年6月1日より改定施行する。

令和3年度(2021年度)

学校関係者評価 報告書

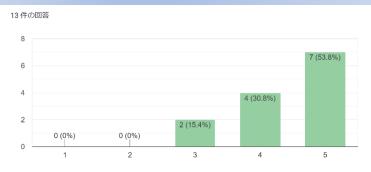
学校法人栗原学園 オホーツク社会福祉専門学校

令和3年度 栗原学園学校評価アンケート

- オホーツク社会福祉専門学校 -

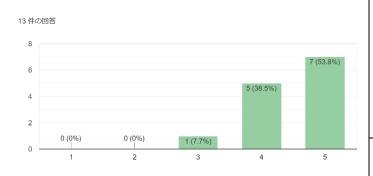
I 教育理念・目標

■理念・目標・育成人材は定められているか



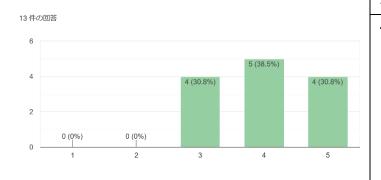
- 3 | –
- 4 ・明確な理念は掲げているので、理解をしている
 - ・理念に基づく目標、人材育成の評価基準が難しい
- 5 ・「紡ぐ・一圓一家」という考えを基に、目標が定 められている
 - 定められている
 - 育成人材の目標として地育地活が定められている
 - ・研修会等で周知されている。

■社会のニーズ等を踏まえた学園の構想を抱いているか



- 3 | -
 - ・時代の背景を考えながら構想を抱いている。実践 につなげる工夫はされている。
 - ・様々な問題を抱えた学生を受け入れており、外国 人留学生の受け入れ準備を行っている
 - ・常に学園全体の向上が必要となるため現在進行形 で考えるべき部分ではある
- 5 ・支援学校等からの受け入れもしており、社会への 道をつけ送り出している
 - ・時代に合わせ話し合いをもうけている
 - ・自らもアンテナを持ち社会のニーズを踏まえた学 校づくりの力となるように努めます。
 - ・幅広い学生を受け入れ、社会を担う人材を育成し ていると感じる

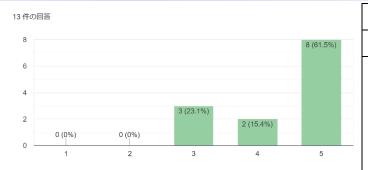
■理念・目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか



- 3 | -
 - ・周知に力を注いでいるが、まだ、不足な点もある と考える。
 - ・出来ればもっと目に入るところをもっと利用した ほうがいいと感じる。
 - •より努めていきます。
 - ・既に学園に関わりのある人への周知は出来ている と感じる
- 5 ・入学式や学校新聞、HP等で周知されている
 - ・ネットワークや学校新聞で周知している
 - ・学生・保護者の個性も様々ではあるが周知の努力 は行っている

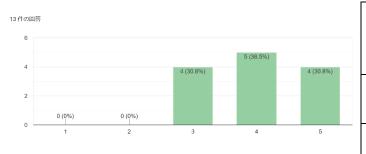
II 学校運営

■目標等に沿った運営方針が策定されているか



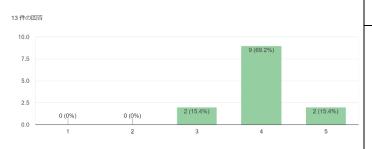
- 3 | . –
- 4 ・目標値を掲げている。
- 5 ・年度初めの職員研修にて、学校長より提示されている
 - ・会議定期開催されている
 - ・必要に応じた前向きなものになっている
 - ・職員研修にて理事長、学園長、学校長より運営方 針の提示がある

■運営組織は明確にされ、有効に機能しているか



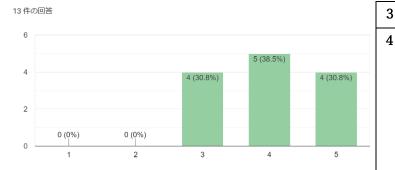
- 3 ・組織運営は稼働はしているが、機能の弱点がみられる。
 - ・機能はしているがマンパワーの努力は必要である
- 4 ・明確にはされているが、機能的には不十分である ため更なる強化が必要である
- 5 ・評価委員会もあり
 - ・校務分掌にて明確化されている

■情報システム等による業務の効率化が図られているか



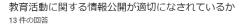
- 3 | -
 - ・ホームページの見直しが必要。しかし、SNSや インスタグラムなどの利用を強化している
 - ・本アンケートや学生アンケート等もオンラインで のアンケートを作成し活用している
 - ·Wi-Fi がつながりにくい
 - ・広報等において精査をしいている。
 - ・より効率化を図ることができるよう職員間で協力 していきます。
 - ・新しいものを取り入れる柔軟な姿勢により、徐々 に効率化へと繋がっている
 - ・図られてはいるがマニュアルが必要ではとも感じ
- 5 ・その都度対応されている
 - ・Google フォーム等を活用している

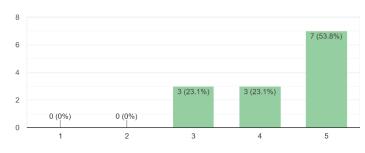
■学園内総合力を高めるための連携と協動体制の確率が図られているか



- 3 ・各科のつながりをもっと密にしてほしい
- ・科が統一され、それぞれの改善すべき点が明確になっ た。
 - ・年度初めの学園研修にて、学園の在り方・更なる教育活動の充実を図るべく「オール栗原で」という方針のも と明確に提示されている
 - ・より一層の連携を図れるようにしている。
- 5 ・職員研修会開催し、連携協働の体制あり
 - ・定期的な教員研修により個々の学びを深めている
 - ・個々での部分からのマンパワーへの連携が難しい

■教育活動に関する情報公開が適切になされているか

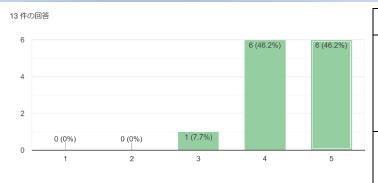




- 3 ・各科のつながりをもっと密にしてほしい
- 4 ・科が統一され、それぞれの改善すべき点が明確になっ
 - ・年度初めの学園研修にて、学園の在り方・更なる教育活動の充実を図るべく「オール栗原で」という方針のもと明確に提示されている
 - ・より一層の連携を図れるようにしている。
- 5 ・職員研修会開催し、連携協働の体制あり
 - ・定期的な教員研修により個々の学びを深めている
 - ・個々での部分からのマンパワーへの連携が難しい

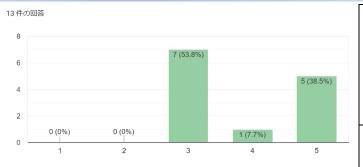
Ⅲ 教育活動

■教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として、修業年限等に対応した教育到達レベルや 学習時間の確保は明確にされているか



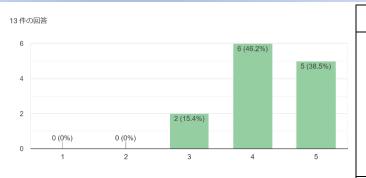
- 3 | . -
- 4 ・学習時間の確保は明確にされているが、教育到達レベルに達するには難しい学生もいる
 - ・学習時間は明確にはされてはいるが、学生の理解度を 考えると難しい部分ではある
- 5 ・ホームページ掲載あり
 - ・学則に明記されている
 - ・国家資格取得のため、明確になっている。
 - ・現状をベストだと決めるなく、向上を目指します。
 - ・資格取得に向けたカリキュラムが策定されている

■学園行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか



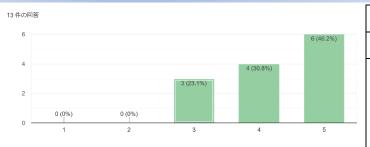
- 3 ・学生自治会を中心に企画運営がなされているが、昨年 度と同様に感染の影響で大きな行事が実施されなかった
 - ・感染等で難しい
 - ・コロナの影響により、満足な活動がなされていない。
 - ・コロナの影響で学園祭等の大きな行事は出来なかった
- 4 ・コロナの関係で運営まで携わる機会が少なかったですが、その時々にあった行事が行われていたと感じています。また、次年度からも行っていきます。
- 5 ・自治会等中心となり企画運営
 - ・学生自治会と自治会顧問が中心となり運営している
 - ・コロナ禍を加味しつつ可能な範囲を検討していた
 - ・担当者を決め連携を図って取り組んでいる

■授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか



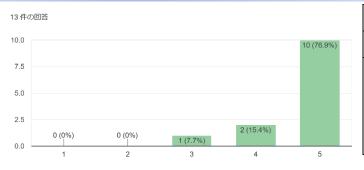
- 3 ・社会情勢を把握しながら検討している。
- 4 ・学科ごとに話合い修正している
 - ・ほぼ図られている。
 - ・授業については、他職員との話し合い等で立て直しは 図られている
 - ・学科で共有し必要に応じて体制を整えている
- 5 ・教員間で協議あり
 - ・適宜個人面談を行い指導し、改善が見られない場合は 保護者を含め三者面談を実施

■関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の作成、見直しが行われているか



- 3 | -
- 4 ・実習等の問題が難しい
- 5 ・教育課程編成委員会を開催し、意見やアドバイスをい ただき見直しが行われている
 - ・教育課程編成員会あり
 - ・職業分野のニーズに合わせカリキュラムの変更等を実 施
 - ・教育編成委員会が設置され連携している
 - ・講師打ち合わせ会や実習打ち合わせ会を毎年実施して

■成績評価、単位認定の基準は明確になっているか

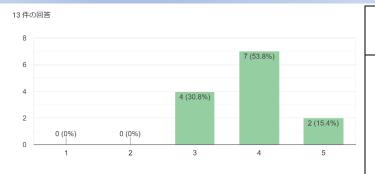


- 3 ·-
- 4 | -

5

- ・学則により明確になっている
- 学則にて決まっている
- ・学則を基にシラバスを作成している
- ・ 基準を設け明確にしている

■授業評価の実施、評価体制があるか

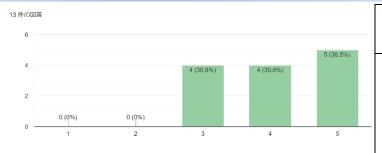


- 3 ・例年公開授業を実施していたがコロナにより今年度実施できていないため
- ・基準に沿って円滑に実施されている。
 - ・公開授業にて評価する体制はあるが、昨年度と同様で感 染の影響で実施されていない
 - · 公開授業

3

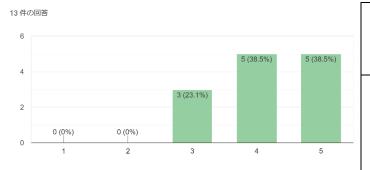
- ・学生の個人の意見になるので一部聞き方を改善した方が 良いと感じた
- 5 ・学生アンケートにて授業評価を行っている。また、教 員自己評価を実施し、校長面談にて評価を受ける

■職員の能力開発のための研修が行われているか



- ・希望はあるが、コロナ禍で満足な研修は難しい。
 - ・コロナの影響を受け、必要十分であったとは感じない
- 4 ・学園内職員研修及び外部研修の参加は、感染の影響で 不十分である
 - ・ 今年度は、外部講師を招いての職員研修が行われた
 - ・学園独自での研修会や各専門職の研修会の参加など学 習の機会を多く頂けている
- 5 ・年3回の職員研修会あり
 - ・研修会や、他講師の授業の見学、くるみ幼稚園での活動見学をさせて頂いています。
 - ・学内・学外の研修に必要に応じて参加している

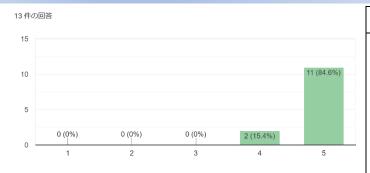
■クラス担任と教科担任の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確率に努めているか



- ・能力強化のための自己研鑽を積んでいる
- ・次年度はより一層、講師の先生方と連携をとっていき ます。
- **4** ・時々意見の相違がある
 - ・授業や学生に関して伝え合うなど、連携をとるように 努めている
 - ・学生から得た状況等は指導に必要な範囲で共有し指導 に役立てている
- 5 ・授業前後に情報提供を行い、指導法についての共有が図られている
 - ・情報共有はその都度行っている
 - ・学生の状況や授業中の様子など学科内周知、朝礼や定 例職員会議で全体周知を行っている
 - ・学科教員全体で情報共有をしていた
 - ・学生の情報共有を行い連携を取っている

IV 学修成果

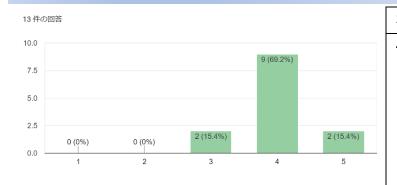
■就職率の向上は図られているか



4 .

- 5 ・個人面談を実施し、希望先に就職できるよう、地域の 企業や施設と連携を図りながら支援している
 - ・毎年 100%達成されている
 - ・就職率は、ほぼ100%のため、向上は図られている
 - ・100%を維持している
 - ・就職セミナーの実施を行っている
 - ・地域の企業、施設等と連携を図りながら就職支援をしている

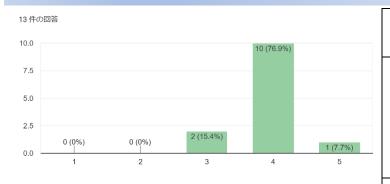
■退学率の低減は図られているか



3 | . -

- ・学生・保護者との関りと教員同士の連携を行っている。
 - ・個人面談を実施し、早期に対処できるよう努めていた が、退学者を出してしまった
 - ・対応が遅い気がする
 - ・学生に寄り添った体制を今以上にできるよう、学科内 で情報共有や連携をとっていきます。
 - ・個別の学生へフォローが行われていた。
- 5 ・クラス担任を中心とし努めている
 - ・担任だけでなく学科にて対応協力を行っている

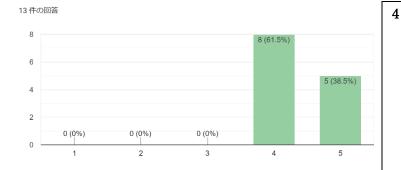
■卒業生・在学生の社会的な活動及び評価を把握しているか



- 3 ・卒業生については、より把握の充実が必要。
 - ・卒業生に関しては、把握しきれていない部分もある
- 4 ・卒業生に関しては把握しきれていない
 - ・ボランティア活動
 - ・卒業生の把握が完全ではない
 - ・就職先が実習先であったり、衛生士会等を通して活動 状況を把握している
- 5 ・情報交換・面談を行い把握に努めている

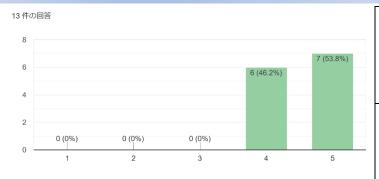
V 学生支援

■学生相談に関する体制は整備されているか



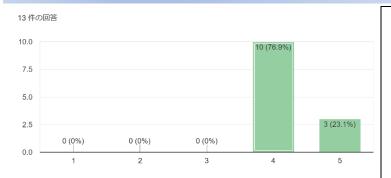
- ・個人面談の充実を図っている。放課後の時間を使用して対応している。担任以外の職員も学生の支援を実施 している
 - ・相談室がない
 - ・各担任が窓口となり、状況に応じて学科長面談、校長 面談を実施している
 - ・学生からの相談には応じ、職員間で努力をしている。
 - ・相談を受ける体制は取られている
- 5 ・担任だけではなく、学科教員の誰にでも相談できるよ う支援している
 - ・担任を中心とした相談体制あり
 - ・担任だけではなく、学科全体でより体制を整えるよう 努めます。
 - ・必要に応じて対応している
 - ・担任以外の職員も学生の支援を実施している

■学生の経済的側面に対する支援は整備されているか



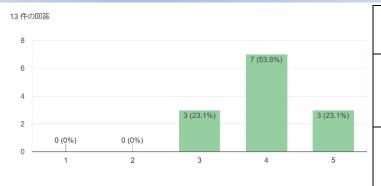
- ・学校独自の奨学金や遠方から進学した学生に対する一 人暮らし応援制度が設けられている
 - ・学校独自の奨学金や新制度の案内をしている。
 - ・奨学金制度等があり、支援されていると思う
- 5 ・太郎基金やひとりぐらし応援制度などの独自の奨学金 を設けていることや、経済状況により柔軟な学費分納に 応じている
 - ・修学資金・奨学金あり
 - ・修学支援や学校独自の応援制度が整っている
 - ・学校独自の奨学基金制度や修学支援新制度の整備など

■保護者と適切に連携しているか



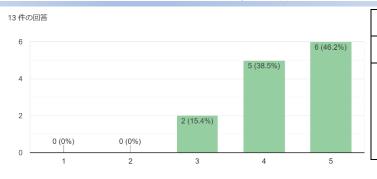
- ・問題のある学生は特に保護者との連携を図っている。
 - ・出来ている学年と出来ていない学年がある
 - ・担任を中心に連携し、生活態度や学習状況の改善に取 り組んでいる
 - 密にするようにしている。
 - ・学生に何かあった際は、保護者に連絡し、状況等をお 伝えしている
 - ・状況に応じて保護者へ連絡を取りながら支援している
- 5 ・状況に応じて常に保護者へ連絡を取りながら支援している
 - ・担任を中心として連携している
 - ・保護者との連携を密にしている

■卒業生への支援体制はあるか



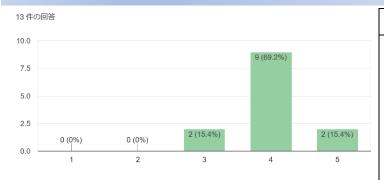
- **3** ・相談があれば対応しているが、相談窓口はない
 - ・卒業年の担任を中心に行っている。
- 4 ・再就職の支援
 - ・卒業生担任が中心となり個別に対応
 - ・卒業後に連絡が来たり、来校した際は対応している
- 5 ・卒後フォローアップの実施
 - ・卒業後も相談窓口となり再就職等の支援を実施してい

■LHR などを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか



- 3 · -
- 5 ・LHR だけではなく各授業内や、進路指導の時間も活用 し努めている
 - ・外部研修も取り入れながら行っている
 - ・外部セミナーや先輩歯科衛生士の講話を開催している

■社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか



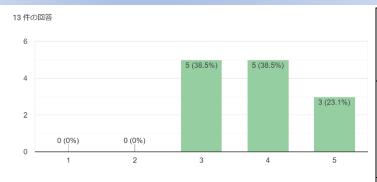
3 . - .

4

3

- ・社会情勢に伴いオンライン授業の強化
 - ・Wi-Fi の設置はできたが、予算の関係上十分な教材の確保はできていない
 - ・職員室等のきちんとした境界がない時がある
 - ・講義・実習に必要な学生人数に合わせた歯科器機の確保が必要である。また、入学生確保を考える上でも課題点となる。
- 5 ・時代に即した授業展開している

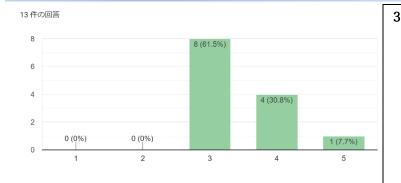
■学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか



- ・自主性を求めることへの目標提示をおこなっている。
- ・職業イメージを抱けるよう外部講師によるセミナーなどを実施しているが十分とは言えない
- 4 ・少人数、クラス担任制で個性に合わせた対応ができている
 - ・学校独自の授業等に組み込むようにしている。
- 5 ・外部授業を取り入れている
 - ・探求学習をするための卒業研究がある

VI 教育環境

■施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか



- ・環境的に十分ではないスペースであるが、工夫して対 応している。
 - ・校舎は 25 年目を迎え、いたる所に修繕が必要となって きている。トイレは、衛生面で改修が望まれると思う
 - ・より一層の整備が必要。
 - ・施設・設備についての把握に努めていきます。
 - ・より多くの保育材料と関わる機会が確保できれば良い と感じる
 - ・基本的な技術を習得する設備は整っているが、現在の 現場環境に即した設備が十分ではない
- 4 ・十分とは言えないが、努力はしている
 - ・Wi-Fi 環境が悪い
 - ・専門教育を学ぶうえで経験によるものと、経験だけで はカバーできない施設・整備の部位分はあるのではと 感じる
- 5 | -

■図書室利用の活性化が図られているか

図書室利用の活性化が図られているか 13件の回答

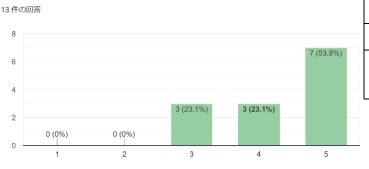
4 (30.8%) 4 (30.8%) 4 (30.8%)
3
2
1 0 (0%)
0 (0%)

- ・図書数の限界があり、活発ではない
- ・授業や実習に関して必要な時にしか利用していないよ うに感じる
- 4 ・昨年度と同様、昼食事時の利用のほ新刊図書が少な く、ネット社会のため活用がされていない
 - ・レポート作成や実習において特に活用している。
 - ・専門書を利用して調べ物をする授業(公衆衛生活動・ 卒業研究・国家試験対策等)で図書室を活用する機会 がある
- **5** ・利用学生は増えている

3

・調べものなど学習のための情報収集の場となっている

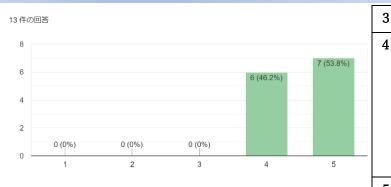
■防災に対する体制は整備されているか



- 3 ・防災訓練を実施している。
- 4 ・定期的な訓練の実施や点検を行っている
- 5 ・定期的な訓練の実施や点検を行い整えられている
 - ・避難訓練、災害講習している

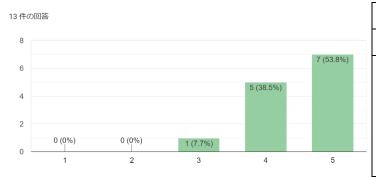
Ⅶ 学生募集

■学生の募集は適切に行われているか



- 3 | · -
 - ・年間のスケジュールを立てて実施高校訪問、オープン キャンパスの開催。進学相談会への参加やオープンキャンパスの実施、高校への訪問などを取り組んでいる
 - ・高校訪問の際や相談会、広告等で募集を募っている
 - ・進学相談会への参加やオープンキャンパスの実施、高校への訪問などを取り組んでいる
- 5 ・学則により行われている
 - ・広報中心とし行っている
 - ・広報活動として学校周知の取り組み強化、高校の担当 者との連携、訓練生制度についてなどできることは取 り入れていくスタイルになってきている

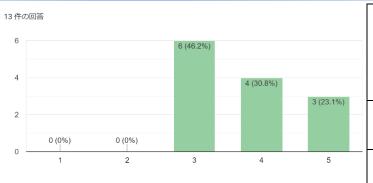
■学生募集活動について、教育成果は正確に伝えられているか



- 3 | · -
- 4 ・卒業後の姿に関する情報をより発信したほうが良い
- ・パンフレットや HP 上、リーフレットを作成し伝えている
 - ・国家試験合格率も周知徹底している
 - ・実績説明を明確に伝えている。
 - ・国歌試験の合格率、就職率等積極的に活用している

VⅢ 財務

■中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか

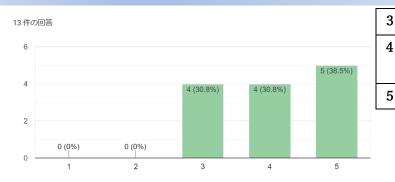


- 3 ・学生数の減少に伴い財政的には低いと考える。
 - ・学生人数の安定した確保が求められる。
 - ・少子化が進む中でいかに人材育成できるかを考えてい く必要がある
- 4 ・学生数が確保できていな

5

- ・職員研修で理事長より説明あり
- ・学科としての働きを等を理解し、学生募集や学生対応 に努めます。

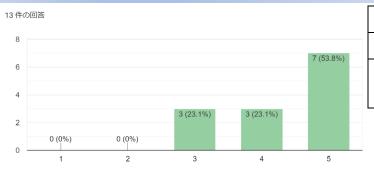
■予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか



- ・施設設備に予算の増加が必要。
- 4 ・予算に見合わない科目もある
 - ・広報に関する予算・内容は見直していく必要がある
- 5 ・職員研修で説明あり

IX 法令等の遵守

■法令、専門学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか



- 3 | . –
- 4 -

5

- ・基準に基づき学則を定め、運営されている
 - ・各種監査受けている

■個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか



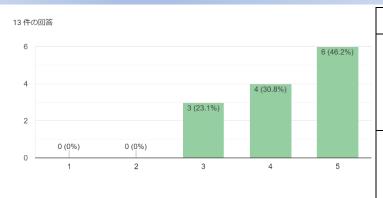
- 3 ・今後一層の対策が必要に感じる。
 - ・個人情報の学内持ち出しを行わない。
 - ・より努めていきます。

4

- 5 ・鍵のかかる部屋に保管している
 - ・個人情報に関するアンケート調査行っている
 - ・学科で対策共有している

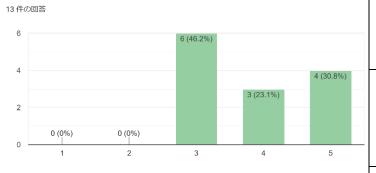
X 社会貢献など

■学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか



- 3 ・コロナの影響で出来なかったように思う
- 4 ・貸校舎に対応しているが、昨年度と同様で感染の影響 で利用が少なかった
 - ・課外授業で取り入れている。
- 5 ・市の委託事業を実施。国家試験等の施設活用し人材を 確保。
 - ・地域に根差した学園である
 - ・近年コロナの感染拡大予防対策で実施できていないが 行っている

■学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか



- 3 ・活動を周知している。
 - ・コロナ感染症の関係から減少していますが、奨励・支 援ができる体制は引き続き整えていきます。
- 4 ・昨年度と同様、周知はしているが感染の影響で件数は 少ない
 - ・ボランティアの依頼があった場合には学生へ公開して
- 5 ・学校でもボランティア紹介している
 - ・学生依頼をかけて募ることもある

【総 評】

全体的に教職員が一丸となり、努力している評価になっていると思われる。

特に学生支援に関しては、努力結果が明確にされている。

コロナ禍での実習等については、大変な状況の中、実習先等の協力を得て無事終了している。

先生方の研修については、専門分野のみに限らず、視野を広げた内容を検討しても良いのではないか。

課題である図書の購入については、学生の興味関心のあるものを調査し次年度購入予定。

今後も今回の自己評価から見えてきた、学生・卒業生への対応や対策・教育の質の向上に尽力されることを期待する。